

# 一般質問

(一般質問は2面・3面にも掲載)

## 運営から経営にシフトした

### 観光振興・源泉活用の実践を

新政クラブ 今井 実

#### 一 源泉の活用と観光振興について

問 弘法の里湯への源泉引き込み工事の実施に当たっては、施設利用者や関係者に対する周知が不足しており、リニューアルオープンに向けて、地域との連携が出来ていないと思うがどうか。

答 窓口、口頭での事前周知を図ってきたが、早い対応をすべきだったと反省している。今後は観光協会とも連携を深め、広報宣伝に努めたい。リニューアルについても、今までの不便を解消するような対応を図り、地域との信頼関係をより一層構築していきたい。

## 妊婦・乳幼児の放射能検査実施を

### 放射能検査実施を

緑水クラブ 高橋 文雄

#### 一 放射能汚染対策について

問 福島第1原子力発電所の事故での放射性物質拡散量は広島原発の20倍以上と言われている。国会証人に立った東京大児玉龍彦教授は「現行法の改正が必要で、基準値はチェルノブイリより高く、がんは数年後から増加する。」と明言している。本市も安全のため妊婦や乳幼児の検診、給食調理後の測定が必要と考えるがどうか。

答 暫定基準は国際機関の数値を基に国が決めており、市場での流通食品もこの基準によるため問題

はないと考えられる。給食調理後の測定は物理的、経済的に無理がある。産地で検査されているため現時点では難しい。

二 森林、緑地の整備について

問 近年、東日本大震災をはじめ大きな自然災害が発生している。山林からの土石流、河川のはんらんの原因は、山林が放置され山林の持つ多面的機能が失われているためである。本市の里山、森林整備の状況はどうか。

答 29の団体が除草や下草刈りなどの林内整理のほか、里山での林業体験ふれあい事業などの啓発活

動も実施している。現在までに里山林では32%、水源エリアでは61%の整備が完了している。

要望 間伐、枝打ちがされず病んでいる森林が相当に見受けられる。木が元気に育つような環境をつくってほしい。

答 安否確認は必要であり精査したい。24時間地域巡回訪問サービスとして位置付け在宅介護の充実を図りたい。

## 夜間対応型訪問介護サービスを実現し

### 在宅介護の充実を図れ

民政会 神倉 寛明

#### 一 学校教員統計調査について

問 全国で精神疾患を理由に退職した教員は940人であり、病気の退職の半数を占める。本市の退職者や休職者の数とその理由、メンタルヘルスの取り組みはどうか。

答 直近3年間の退職者94人のうち4名が精神疾患、休職者25人のうち17人が精神疾患であり、原因は学級経営が円滑に運営できないことや人間関係の悩み等である。取り組みはメール相談やスクールカウンセラーの活用等である。

要望 男女共同参画プランに沿って女性管理職登用を進めてほしい。

二 高齢者福祉について

問 在宅独り暮らし高齢者等登録制度における未登録者の安否確認を行うべきと思うがどうか。また、夜間対応型訪問介護サービスを実施すべきではないか。

答 安否確認は必要であり精査したい。24時間地域巡回訪問サービスとして位置付け在宅介護の充実を図りたい。

要望 メンタルヘルスを充実し抜本的対策を急いでほしい。

問 全国の女性教員の割合は小学校で62%、中学校で約42%である。そのうち、小学校長は約19%、教頭は約22%、中学校長は約6%、教頭は8%である。本市の女性教員と女性管理職の割合はどうか。

答 女性教員は小学校約64%、中学校約43%で、小学校の女性校長は約23%、女性教頭は約31%である。中学校では登用していない。

要望 男女共同参画プランに沿って女性管理職登用を進めてほしい。

二 高齢者福祉について

問 在宅独り暮らし高齢者等登録制度における未登録者の安否確認を行うべきと思うがどうか。また、夜間対応型訪問介護サービスを実施すべきではないか。

答 安否確認は必要であり精査したい。24時間地域巡回訪問サービスとして位置付け在宅介護の充実を図りたい。

## 災害時の安心と希望を担う

### 女性消防団の結成を

公明党 横山 むらさき

#### 一 不育症について

問 厚生労働省の調べによると、妊娠経験者の4.2%が妊娠しても流産・死産などを繰り返す不育症を発症しており、その数は全国で140万人と推定されている。不育症の認知度は低いが、検査と治療により出産も可能となるため、周知啓発と公費助成をすべきと考えるがどうか。

答 不育症については、専門医での受診が重要である。母子健康手帳と一緒に配付している冊子を活用して不育症検査の周知啓発に努め、医療機関との連携を図りたい。公費助成については、少子化対策として総合的に研究したい。

二 女性消防団の結成について

問 東日本大震災の際の献身的な活動で女性消防団が注目されており、総務省消防庁でも女性消防団員の採用を推進している。災害時における地域の安全・安心を確保するために、女性の入団を積極的に推進すべきと考えるがどうか。

答 さまざまな課題はあるが、本市の組織体制の課題を整理する中で、消防団の機動力を低下させないような受け入れ体制を整えた上で女性消防団員を募集したい。

問 被災者団員の増加による日中の地域防災力低下に対する考えはどうか。

答 災害時の即応力を高めるため、市内在勤団員を確保するよう事業所に協力を呼び掛けている。

## 陳情・意見書

9月定例会では、3件の陳情について審査を行いました。また、意見書提出についての議案1件が議員から、1件が委員会から提出され、いずれも原案のとおり可決しました。(陳情・意見書の全文掲載は紙面の都合上、省略しています。ホームページでは全文をご覧いただけます。)

### 尖閣諸島をはじめ 我が国の領土・領海を守れ

平23陳情第12号 尖閣諸島をはじめ我が国の領土・領海を守る措置を求める意見書提出についての陳情

▼願意

尖閣諸島海域での外国漁船の違法操業が常態化し、我が国の主権が奪われる恐れがあるため、尖閣諸島をはじめ我が国の領土・領海を守るよう、国に意見書を提出してほしい。

▼審査状況

この陳情は、今定例会において総務常任委員会に付託されたものです。

▼議決結果

委員会 趣旨採択(賛成多数)

▼議決結果

本会議 原案可決(賛成多数)

本会議 趣旨採択(賛成多数)

本会議 原案可決(賛成多数)

## 議会のうごき

### 9月

- 12日(月)・議員協議会
- 15日(木)・代表者会議
- 20日(火)・市議会第3回定例会開会【傍聴者6人】
- 代表者会議・議会運営委員会
- 22日(木)・本会議(議案審議)【傍聴者3人】
- 各常任委員会・決算特別委員会
- 議会運営委員会・代表者会議
- 26日(月)・本会議(一般質問)【傍聴者54人】
- 27日(火)・本会議(一般質問)【傍聴者101人】
- 議会運営委員会・議会報編集委員会
- 28日(水)・本会議(一般質問)【傍聴者6人】
- 議会活性化特別委員会
- 29日(木)・決算特別委員会【傍聴者なし】
- 30日(金)・決算特別委員会【傍聴者なし】

### 10月

- 3日(月)・決算特別委員会【傍聴者なし】
- 4日(火)・決算特別委員会【傍聴者なし】
- 5日(水)・代表者会議
- 総務常任委員会【傍聴者14人】
- 6日(木)・文教福祉常任委員会【傍聴者2人】
- 11日(火)・都市建設常任委員会【傍聴者なし】
- 18日(火)・議会運営委員会
- 市議会第3回定例会閉会【傍聴者2人】
- 臨時議員連絡会【傍聴者1人】
- 代表者会議・議会運営委員会【傍聴者1人】
- 議会報編集委員会
- 20日(木)・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会第3回定例会

### 11月

- 8日(火)・代表者会議
- 14日(月)・議会報編集委員会
- 16日(水)・代表者会議・議員連絡会
- 議会活性化特別委員会・総務常任委員会

## 中学校給食の実施で

### 都市間格差の解消を

民政会 古木 勝久

#### 一 中学校給食について

問 全国平均に比べ、県内の公立中学校完全給食実施率は極めて低い。厚木市が平成19年度に、海老名市が23年度に実施し、伊勢原市も近々に実施するなど動きが活発になっていくが、本市の基本的な考え方はどうか。

答 ささまざまな視点から、現状が望ましいと考えている。また、多額な財政負担を要するため、現在は、中学校給食実施の考えはない。

要望 学校給食については、食育の推進を図ることを基本とし、また、さまざまな地域経済効果も期待できるため、実施に向けた検討会議を立ち上げてほしい。

二 大気汚染物質広域監視システム(そらまめ君)について

問 国の事業として、市内には一般大気と自動車排出ガスの測定局が2か所あるが、2局間の距離は約700mと近接している。また、汚染物質の測定項目が3項目重複しており、さらに設置後40年が経過しているため、時代の変化に応じて再配置を考えるべきと思うがどうか。

答 国の法定受託事務として県が実施しているものであり、現状では、設置場所、測定項目いずれも事務処理基準に適合しているが、大きな環境変化が生じた場合は、県と協議し対応していきたい。

答 ささまざまな視点から、現状が望ましいと考えている。また、多額な財政負担を要するため、現在は、中学校給食実施の考えはない。

要望 学校給食については、食育の推進を図ることを基本とし、また、さまざまな地域経済効果も期待できるため、実施に向けた検討会議を立ち上げてほしい。